

## 令和元年度第1回国際観光受入部会の概要について

## ■会議内容

## 令和元年度 第1回国際観光受入部会 (R1. 11. 25)

## ○おもてなし課が取り組む外国人観光客の受入環境整備について

- ・ 外国客船の寄港実績及び客船寄港時の高知市中心市街地での受入について
- ・ その他外国人観光客の受入環境の整備

## 主な意見について

## 【委員】

- ・ 船で来ている方が、どうしたら高知市内にお金を落としてくれるか。
- ・ お金を使っただけのための仕掛けを具体的に作っていかないといけない。
- ・ 船内でも食事が用意されているので、その場で完結できる食べ物を販売するなど下船して高知で食べてもらうために、高知はどうすべきか、検討することが必要ではないか。
- ・ 高知の強み（食＝お酒。おきゃく文化）をどうやって伝えていくのが課題である

## 【回答（対応案）】

高知が魅力ある観光地として下船してもらえるよう、文化を知ってもらえるよう、消費につながるよう関係者とともに検討していく。

## 【委員】

- ・ どんなお土産がほしいのかアンケート調査をしてはどうか。
- ・ 客船によって客層が違っているので、リサーチして目的などについてもデータ化することで、仕掛けが変わってくる。

## 【回答（対応案）】

アンケートをシャトルバスで高知市中心市街地に来た人に、満足度をとるものを実施している。動機やどんなことを楽しんだか、次はどこに行きたいかなど分析できる調査が今後は必要と考えている。

## 【委員】

- ・ 観光案内所には、外国人観光客から高知市内から遠いところにも行きたいと相談があるが、公共交通機関が少なく、代替におもてなしタクシーも案内しているが、金額が少々高いことから、行けないことが多くがっかりされる。
- ・ レンタカーを活用してもらうのが一番高知を回れるのではないか。
- ・ U b e r が高知で始まるが、例えば、外国人観光客だけを対象にした高知県独自の仕組みでやっていくとインパクトがある。

## 【回答（対応案）】

- ・ 観光案内所の機能強化事業を実施するなかで、公共交通機関の乗り継ぎ方法やかかる時間、乗り継ぐところ、タクシーの料金など観光案内所で少しでも利便性がよくなる、正しい情報をご案内していく。
- ・ U b e r が高知で利用できることも案内する。

## 【委員】

- ・ 外国人観光客を受入する体制は整ってきたと思う。県内に外国人観光客が来ても以前ほど困らない。だが認知度が低く、関係者しか知られていない。できていることをどうPRしていくか。

## 【回答（対応案）】

- ・ 高知県の受入環境が整っていることを外向けに発信していけるよう取り組んで行く。